

西日本フィナンシャルホールディングス

西日本FHH

ミニディスクロージャー誌 2019年3月期 2018年4月1日～2019年3月31日

TAKE
FREE

©GROOVISIONS



特集1 地域に密着!太宰府 特別編

「令和」の聖地、 太宰府

特集2 地域に密着!長崎編

長崎地区での取り組み

山村延輝(のぶあき)作「梅花の宴」((公財)古都太宰府保存協会蔵)

ココロがある。 コタエがある。

私たちは、「さらなる飛躍に向けた基盤拡大に取り組み、

お客さまに選ばれる地域金融グループを目指す

『グループ総合金融力の進化』ステージ』をコンセプトとする

中期経営計画「飛翔2020」知恵をしばらく」の下、

さまざまな取組みを進めています。

これからもお客さまと地域の未来のために、

「ココロ」をひとつに知恵を絞り、

ベストな「コタエ」をお届けすること。

それが私たちの変わらぬ使命です。

総合力NO.1の地域金融グループを目指して、

西日本FHグループの挑戦は続きます。



3 ごあいさつ
**グループ総合金融力の
進化を目指して**

5 **特集1**
**地域に密着! 太宰府 特別編
「令和」の聖地、太宰府**

9 **特集2**
**地域に密着! 長崎編
長崎地区での取り組み**

13 **最近のトピックス**

15 **グループ一丸となった
「まるごとサポート」の展開**

17 **フィンテックへの取り組み**

19 **ESG(環境・社会・ガバナンス)への取り組み**

※SDGsに向けた取り組み項目をロゴ表記しています。

26 **安心に向けた取り組み**

27 **業績ハイライト**

29 **プロフィール・ネットワーク・株式のご案内**



SDGs(Sustainable Development Goals)とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された国際目標です。環境、教育、労働、ジェンダー平等、平和などの問題解決に向けて設定された17の目標で構成されています。国連に加盟するすべての国は、2016年から2030年までにこの諸目標を達成すべくさまざまな取り組みを行っています。

西日本フィナンシャルホールディングスグループは、SDGsに向けた取り組み項目を開示しています。(開示にあたっては、国際連合広報センターが公開しているロゴを使用し、該当する項目を表示します。)

グループ総合金融力の進化を目指して

皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜っており、厚く御礼申し上げます。当社グループは、「さらなる飛躍に向けた基盤拡大に取り組み、お客さまに選ばれる地域金融グループを目指す『グループ総合金融力の進化』ステージ」をコンセプトとする中期経営計画「飛翔2020」知恵をしばろうくの下、さまざまな取り組みを進めています。

わが国の経済と九州経済の概況

2018年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善に伴う個人消費の持ち直しや、企業収益の堅調な推移を受けた設備投資の増加を背景に、景気は緩やかな回復基調をたどりました。しかしながら、年度後半に入ってから、海外経済の動向が不透明感を増したことから、生産

や輸出の一部などに減速感が生じました。

地元九州の経済も、年度前半は、旺盛な海外需要を背景に生産・輸出が高水準で推移し、個人消費も緩やかに拡大するなど順調に推移しました。その後は、西日本豪雨や台風による悪影響が一部にみられたほか、年度後半には、海外需要にも陰りがみられ、徐々に弱めの動きとなりました。

グループ丸となった

「まるごとサポート」の展開

企業まるごとサポートの進化

法人のお客さま向けには、「企業まるごとサポート」をコンセプトとして、創業期、成長期などのさまざまなライフステージに応じた最適なサービスの提供に努めました。

創業期のお客さまに対しては、株式会社西日本シティ銀行（以下「西日本シティ銀行」）は、福岡地区、北九州地区に設置した「NCB創業応援サロン」に専門スタッフ「創業カウンセラー」を配置し、お客さまの創業に関する相談にきめ細かに対応してしました。

また、2019年3月には、株式会社NCBリサーチ&コンサルティングが有

料職業紹介事業の許可を取得し、4月には、九州地銀グループでは初めて人材紹介業に参入しました。

人生まるごとサポートの進化

個人のお客さま向けには、「人生まるごとサポート」をコンセプトとして、ライフステージから生じるさまざまなニーズを起点に、最適なサービスの提供に取り組んできました。

西日本シティ銀行 株式会社長崎銀行（以下、「長崎銀行」）及び西日本シティ証券株式会社は、2017年6月、「お客さまの資産運用及び資産形成に関する業務の基本方針（フィデューシャリー・デューティ）に関する基本方針」を策定しました。この基本方針の下、これから資産運用をお考えのお客さまや投資初心者のお客さまに対して、NISA、つみたてNISA、iDeCo等の概要に関するセミナーを東証と共催するなど、お客さまに対する情報提供の充実を図りました。

また、西日本シティ銀行は、お客さまの豊かなセカンドライフをサポートするため、2018年12月、満60歳以上のお客さま向けに新型住宅ローン「NCB住宅ローン・パス60」の取扱いを開始しました。

西日本フィナンシャルホールディングス

代表取締役社長

谷川 浩道

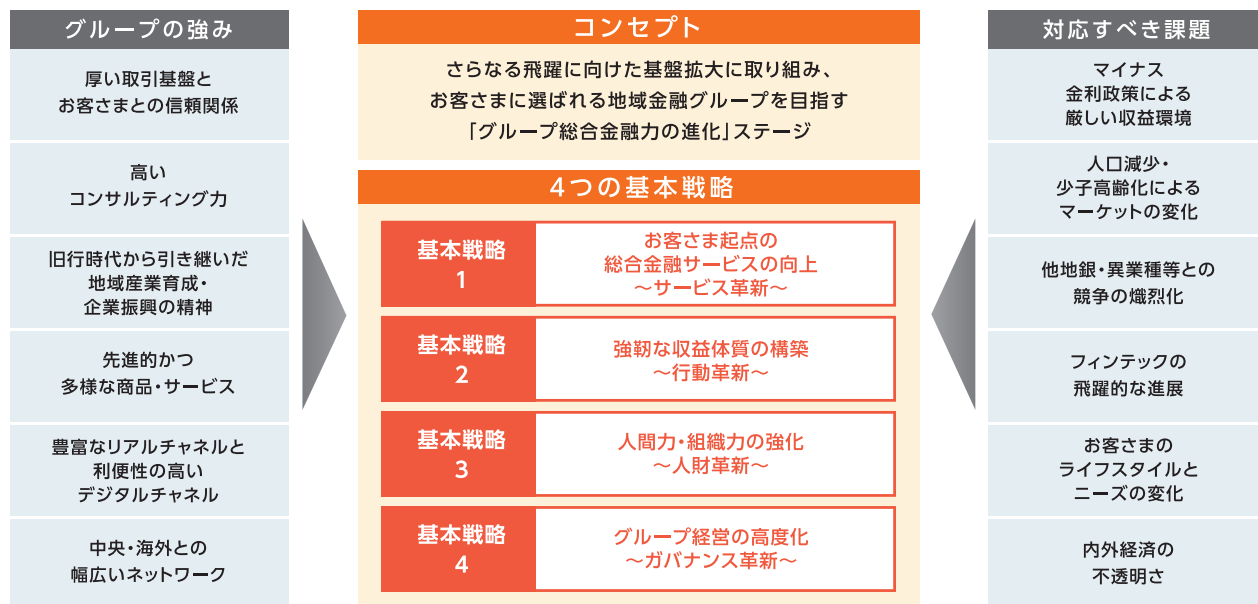


中期経営計画の概要【計画期間：2017年4月～2020年3月】

「飛翔2020～知恵をしぼろう～」

グループ経営理念

高い志と誇りを持って時代の変化に適応し、お客さまとともに成長する総合力No.1の地域金融グループ



地域まるごとサポートの進化

地域のお客さま向けには、「地域まるごとサポート」をコンセプトとして、地方創生や地域活性化に積極的に取り組んできました。

西日本シティ銀行は、地域の学校などへ図書やスポーツ用品などの物品を寄贈する機能がついた社債「地域応援私債」つなぐココロ」の引受けを行っています。これにより、社債を発行した企業とともに、九州地域の未来を担う子供たちの学びや成長を支援しています。

また、2018年10月には、九州内の世界遺産群の保存活動を地域の皆さまとともに支援するため、発行金額の0.2%相当分を西日本シティ銀行が寄付する「世界遺産保存応援私債「九州ヒストリー」」の取扱いを開始しました。

長崎地区においては、地方銀行の再編に伴い、西日本シティ銀行及び長崎銀行へのお借換えを希望されたお客さまとの取引関係の構築に取り組んできました。2019年2月～3月には、長崎県内企業の皆さまを対象として、当社グループの経営戦略や具体的な取組みに関する「西日本フィナンシャルホールディングス会社説明会」を開催しました。

「ベストミックスのチャネル」の実現

「ベストミックスのチャネル」の実現に向けて、高度なコンサルティングの提供と先進的なデジタルチャネルの構築に取り組んできました。

店舗チャネルでは、多様化・高度化するお客さまの金融ニーズにお応えするため、グループ総合金融サービスをワンストップで提供する「まるごとサポート店舗」を展開しました。

デジタルチャネルでは、「西日本シティ銀行アプリ」のさらなる利便性向上に向けて、税金支払いサービス「NCBアプリペイ」の対象となる地方自治体の拡大や、「目的貯蓄機能サービス」の導入などのバージョンアップを行いました。

また、運転免許証とスマートフォンがあれば、来店不要で口座開設の申込手続きができる「西日本シティ銀行口座開設アプリ」の取扱いを2019年2月に開始しました。

グループ総合金融力の進化に向けて

当社グループを取り巻く経営環境は、超低金利環境の継続、ICTの急速な進展、銀行法等改正に伴う規制緩和などにより、大きく変化し続けています。

そうした中、私どもは、関係当局の許可を得ることを前提として、2019年10月を目標に信託業への本格参入を検討するなど、お客さまの多様なニーズに応えることのできる態勢づくりに取り組んでいます。

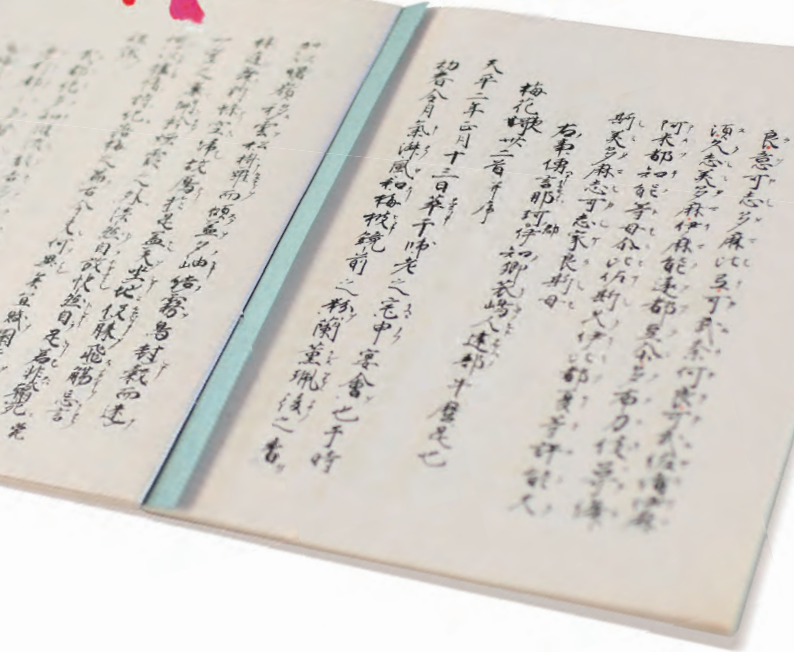
これからも、お客さま、地域の皆さまとともに成長する総合力No.1の地域金融グループを目指してまいりますので、引き続きご支援・ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

新元号を生んだ日本人の心の原点

「令和」の聖地、太宰府

「だざいふ」の表記
律令制下の役所を指す場合は「大宰府」と「大」を用い、現在の行政名「太宰府市」や「太宰府天満宮」には「太」を用います。

初春しよしゆんの令月れいげつにして 氣淑きよく風和かぜやわらぎ
梅うめは鏡前きやうぜんの粉こを披ひらき 蘭らんは珮後はいごの香かうを薫かおらす



645年の「大化」から数えて248番目の元号となった「令和」。
その典拠となったのが、1300年ほど前に西都・大宰府で催された
「梅花の宴」を記した『万葉集』の中の一文でした。
日本人の心の原点ともいえる「万葉の里」であり、
新元号「令和」の聖地でもある太宰府の新たな魅力に迫ります。

日本最古の 国際都市・大宰府で 催された「梅花の宴」

天平二七三〇年正月十三日、大宰帥だざいのそち
(大宰府長官)である大伴旅人の邸宅で
「梅花の宴」が催されました。「令和」の典
拠となったのは、宴で詠まれた「梅花の歌
三十二首」の序文で、令月れいげつ(よい月)の和やわらかな
風や梅花の美しさが情緒豊かに描かれてい
ます。序文の作者については筑前守の山上
憶良など諸説ありますが、宴の主催者であ
る旅人という説がもっとも有力です。
かつてこの地には、7世紀後半から12世
紀にかけて地方最大の役所である「大宰
府」が置かれ、九州一帯の統治や外交・交
易、軍事防衛の拠点といった重要な役割

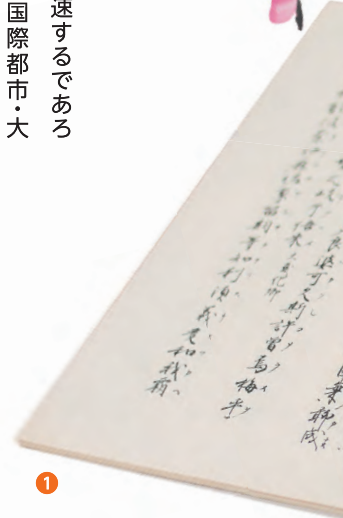
を担っていました。当時の大宰府は『続
日本紀』の「此の府は、人物殷繁いんぱんにして、
天下の一都会なり」という一節にもある
とおり、人々や物資の往来でにぎわう大
都会。大宰府政庁では外国使節をもて
なす饗宴が開かれ、遣唐使や遣新羅使
たちも頻繁に訪れていました。まさに大
宰府は、東アジアと日本の文化が融合す
る日本随一の国際都市だったのです。
「梅花の宴」の梅花(当時は白梅)も、
中国からもたらされた稀少な渡来植物
でした。当時、梅があったと考えられる
のは奈良の都と大宰府だけ。「梅花の
宴」は、旅人が中国の書聖・王羲之の蘭
亭の詩会にならって開いたものですが、
大宰府が海外文化を取り入れる窓口
だったゆえにできた最先端の宴でした。



グローバル化がいつそう加速するであろうこれからの時代、元号に国際都市・大宰府ゆかりの「令和」が定められたことに不思議な縁を感じずにはられません。

元号の考案に携わった 菅原道真の子孫代々

太宰府と梅の花には、さらに深い縁があります。「梅花の宴」からおおよそ200年後、この地に左遷された菅原道真を慕い、都から一夜で飛来したとされる「飛梅」伝説です。太宰府天満宮ではこの「飛梅」をご神木として今に伝えており、初春には境内に6千本の梅花が咲き誇る梅の名所となっています。学問の



神様として慕われる道真は、旅人や憶良と同様に和歌などの文才に優れた人物でもありました。

東風吹かば

匂いおこせよ梅の花

あるじなしとて 春な忘れそ

道真が都を離れる際に詠んだこの和歌は、梅を詠んだ句としても有名です。

元号「梅花の宴」大宰府「道真」という一連のストーリーには、まだ先があり

ます。実は平安から明治時代まで、元号の文字案の策定に道真の子孫の菅原家も携わっていたのです。元来、元号は教養の必要な職を代々務めた公家らが、改元の際に複数の案を考案し、最終的に天皇によって決定されていきました。そもそも日本の元号は、その時代の理想や願望を漢字で表す政治文化のひとつであり、一流の文章博士を代々輩出した菅原家は、この大役を千年以上も担ってきたこととなります。

「令和」という新しい時代を迎え、旅

人から道真へとつながる元号の物語もまた、太宰府の貴重な文化遺産となることでしょう。

- ①「梅花の歌三十二首」の序文が記された「西本願寺本万葉集巻五」（九州歴史資料館蔵／複製）。
- ②太宰府天満宮の「飛梅」。
- ③旅人が赴任していた大宰府政庁跡。
- ④大宰府政庁跡から発掘された鬼瓦。「梅花の宴」が催された8世紀頃のもの（九州歴史資料館蔵）。
- ⑤旅人の邸宅があったとされる坂本八幡神社。

万葉集

と大宰府

梅花を詠んだ歌人たち

「梅花の宴」で詠まれた「梅花の歌三十二首」は、『万葉集』を代表する歌群ともいわれ、大宰府に万葉文化が花開いた天平の昔を偲ばせてくれます。

梅花を詠んだ歌人(官人)たちはいったいどんな人物だったのでしょうか。

『万葉集』の歴史に欠かせない太宰府発見塾塾長の森弘子さんに歌人たちの人物像を伺いました。

切磋琢磨し合いながら

互いを高め合った旅人と憶良

「梅花の宴」には32人の官人が集いましたが、特に有名なのが大伴旅人と山上憶良です。

旅人が妻や息子らとともに大宰府にやってきたのは63歳のときでした。歌人としても才を発揮していた旅人は、すでに大宰府にいた山上憶良らと親しく交わり、彼らの歌の世界は後に「筑紫歌壇」と呼ばれました。

大宰府は対外交渉の窓口でもあったため、役人として都から下ってくるのは、中国文学の素養をもつ国際感覚に富んだ人たちばかり。最先端の都市に最先端の人たちが集ったことで、大宰府にはなやかな万葉文化が開花したのです。

「令和」の典拠となった「梅花の宴」は中国式の詩宴をいち早く取り入れたもので、わが国最初の大和言葉による詩宴でもあ



『万葉集』の編纂者・家持にも

影響を与えた「梅花の宴」

身分は違えども二人は互いの才能を認め合い切磋琢磨し合いながら、数々のすばらしい歌を作っていました。

都から下ってきた役人たちにとって、大宰府はいわば辺境の地。旅人も憶良にも寂しさや苦悩があったのでしょうか。ましてや旅人は赴任してすぐに妻を亡くしてしまいます。咲き誇る白梅のもとで歌を詠んだり、舞を楽しんだであろう「梅花の宴」は、

浮き世の雑事から逃れることのできる心豊かなひとときだったと思います。

この高貴な宴がよほど印象に残っている

たのでしよう。当時12歳だった旅人の息子の家持は、20年後に梅花の歌に追和する

和歌を詠んでいます。家持は『万葉集』を編纂したとされる人物ですが、父親ゆずりのロマンチックな作風には、幼い頃に見た「梅花の宴」が色濃く影響しているのかもしれません。

いずれにせよ、約4500首もの歌を取めた『万葉集』から「梅花の宴」の序文が元号の典拠となったことを、彼ら万葉歌人たちが誇らしく感じているのではないのでしょうか。



太宰府市景観・市民遺産協議長
太宰府発見塾塾長

森 弘子さん

1946年、福岡県生まれ。京都女子大学文学部東洋史学科卒業。太宰府天満宮文化研究所主任研究員、古都大宰府保存協会文化部長などを経て、現在、太宰府市景観・市民遺産協議長、太宰府発見塾塾長などを務める。「太宰府発見」歴史と万葉の旅(海鳥社)ほか著書・共著多数。

山村延輝(のぶあき)作「梅花の宴」((公財)古都大宰府保存協会蔵)

はるか万葉人の思いにふれる

太宰府万葉歌碑めぐり

筑紫歌壇の中心となった太宰府には、旅人や憶良などの数多くの万葉歌人たちが詠んだ歌の歌碑が40基以上あります。太宰府と都でしか見られなかった梅を詠んだ歌も多くあり、高貴な花への憧れも感じられます。まほろばの里を散策しながら、万葉人の思いにふれてみませんか。

1 坂本八幡神社境内



わが岡に さ男鹿来鳴く
わが岡に さ男鹿来鳴く
初秋の 花婿問いに
初秋の 花婿問いに
来鳴くさ男鹿
来鳴くさ男鹿
 訳：私の住む岡に男鹿が来て鳴いている。今年初めての萩の花が咲き、男鹿がやってきて妻問いをしていることよ。
 作者：大伴旅人(巻8・1541)

2 太宰府天満宮境内 九博工スカタレータ前広場



わが苑に 梅の花散る
わが苑に 梅の花散る
久方の 天より雪の
久方の 天より雪の
流れくるかも
流れくるかも
 訳：私の庭に梅の花が散っている。それとも天から雪が流れてくるのであろうか。
 作者：大伴旅人(巻5・822)

3 大町公園



妹が見し
妹が見し
棟の花は散りぬべし
棟の花は散りぬべし
わが泣く涙
わが泣く涙
いまだ干なくに
いまだ干なくに
 訳：妻が見た棟の花は、きつと散つてしまつたろう。妻を亡くした悲しみの涙がまだ消えないうちに。
 作者：山上憶良(巻5・798)



4 大宰府政庁跡南側



やすみしし
やすみしし
わご大君の食国は
わご大君の食国は
倭も此処も
倭も此処も
同じとそ思ふ
同じとそ思ふ
 訳：わが天皇が安らかにお治めになる国は、大和もこの太宰府も同じであると思う。
 作者：大伴旅人(巻6・956)

5 大宰府政庁跡東側



あをによし
あをによし
寧楽の京師は咲く花の
寧楽の京師は咲く花の
薫ふがごとく
薫ふがごとく
今さかりなり
今さかりなり
 訳：奈良の都は、咲く花が美しく薫るように今がまっ盛りである。
 作者：小野老(巻3・328)

6 大宰府政庁跡西側



正月立ち
正月立ち
春の来たらばかくしこそ
春の来たらばかくしこそ
梅を招きつつ
梅を招きつつ
楽しき終へめ
楽しき終へめ
 訳：正月になり春が来たなら、こつして梅を招きながら、楽しさの限りを尽くそう。
 作者：大式部卿(巻5・815)

太宰府天満宮 宝物殿からのお知らせ

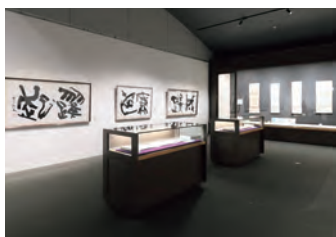
展覧会

新元号「令和」記念 — 太宰府天満宮に

伝わる文化財—
書を中心に

第1展示室では、新元号「令和」を記念して、『万葉集』より「梅花の歌三十一首序文」をはじめ、太宰府天満宮に伝わる書を中心とした文化財を紹介しています。

また、第2、第3展示室では、昭和・平成の能書家である青山杉雨・高木聖鶴、次代の書道界を牽引する高木聖雨の初の三人展「受け継がれる名筆」を開催。高木聖雨により揮毫・奉納された「令和」の書も公開しています。



- 会期／2019年9月29日(日)まで。＊休館／月曜日(祝日は開館)、7月9日(火)・10日(水)
- 拝観料／大人400円、高大生200円、小中生100円。

◎お問い合わせ▶太宰府天満宮 文化研究所 TEL092-922-8225(9時～16時)

長崎地区での取り組み

西日本フィナンシャルホールディングスの長崎地区での取り組みをご紹介します。
 今後も地域に根付く総合金融グループとして、地域経済の活性化に貢献してまいります。

西日本F H

西日本シティ銀行

長崎銀行

「ワンク」が長崎を走る!」

長崎路面電車に

「ワンク」の

ラッピング装飾を実施

西日本フィナンシャルホールディングス(以下「西日本F H」)は、2019年4月1日より、長崎電気軌道株式会社が運行する長崎路面電車2台(クロワンク号・シロワンク号)に西日本F Hのキャラクター「ワンク」のラッピング装飾を実施しました。

この路面電車は、長崎の春夏秋冬をイメージし、「ワンク」が長崎の名所や季節のお祭りを紹介することで、観光客の方はもちろん、地元の方にも長崎の街の魅力を伝えたいとの思いを込めています。また、長崎では多く見られ、幸運を招くといわれる「尾曲がり猫」を隠しデザインとしてあしらうといった工夫もしています。



【クロワンク号】
 (春): 稲佐山、カンチレパークレーン、大浦天主堂、グラバー園
 (夏): 軍艦島、くじら、ながさき女神大橋



【シロワンク号】
 (秋): 諏訪神社、長崎くんち
 (冬): めがね橋、長崎ランタンフェスティバル



西日本F H

西日本シティ銀行

長崎銀行

「福岡ソフトバンクホークス 公式戦 in 長崎」に協賛

西日本F Hは、2019年4月9日、長崎県宮野球場（ビッグNスタジアム）で開催された「福岡ソフトバンクホークス公式戦 in 長崎」にゲームスポンサーとして協賛しました。

この公式戦は、福岡の地元球団である「福岡ソフトバンクホークス」が本拠地を九州・福岡に移転して30周年なることを記念し、10年ぶりに長崎県でのホークス主催公式戦（福岡ソフトバンクホークスVS北海道日本ハムファイターズ）として開催されたもので、当社の子会社である長崎銀行が主体となって長崎を盛り上げようと協賛したものです。

試合前には、長崎銀行のお取引先さまに、両軍の選手代表へ花束を贈呈していただきました。また、始球式では、長崎銀行の山本頭取（当時）が投球を行いました。

試合結果は、延長10回コールドゲーム、3対3の引き分けとなりましたが、雨天にも関わらず、たいへん盛況に終わりました。



始球式での山本頭取（当時）



盛況なビッグNスタジアム





長崎銀行

長崎銀行新システム稼働開始

長崎銀行は、2019年1月4日、九州地区の第二地方銀行6行（福岡中央銀行、佐賀共栄銀行、長崎銀行、豊和銀行、宮崎太陽銀行、南日本銀行）で共同運営する事業組合システムバンキング九州共同センターの勘定系システム

を、株式会社NTTデータが提供する金融機関向け勘定系システム「BESTACLOUD」へ移行し、稼働を開始しました。

今後、新システムの円滑な稼働と、より一層のサービス向上に努めてまいります。



長崎銀行本店

長崎銀行

長崎労働局と「働き方改革に係る包括連携に関する協定」を締結

長崎銀行は、2019年1月11日、長崎労働局と相互に密接に連携・協力して長崎県内の働き方改革及び地域振興等を推進していくことを目的に、「働き方改革に係る包括連携に関する協定」を締結しました。

本協定の締結を機に、働き方改革に関するさまざまな情報を発信する等、お取引先の働き方改革を支援する取組みを行ってまいります。

（主な連携事項）

- （1）労働者の処遇の改善、ワーク・ライフ・バランスの推進、その他の働き方改革に関すること。
- （2）雇用の促進及び安定に関すること。
- （3）人材育成に関すること。
- （4）多様な働き方に関すること。
- （5）労働生産性の向上に関すること。
- （6）労働局の施策の周知に関すること。



「働き方改革に係る包括連携協定」の締結

長崎地区で「西日本フィナンシャルホールディングス会社説明会」を開催

西日本F Hは、2019年2月26日、「西日本フィナンシャルホールディングス会社説明会」を長崎市内で開催しました。

本説明会は、長崎地区における西日本F Hグループに対するご理解を深めていただくことを目的に実施したもので、当日は、180名を超えるお客さまにご参加いただきました。

第一部では、久保田会長が「今後の世界経済と日本の行方」との演題で講演し、第二部では、谷川社長が「西日本F Hのグループ経営戦略」の概要や総合金融サービスについて説明しました。

第三部では、お客さまと西日本F Hグループ役員との交流会を実施しました。

なお、2019年3月19日には、佐世保市内においても会社説明会を開催しました。



久保田会長による講演



会社説明を行う谷川社長



佐世保市内での会社説明会

長崎地区でのTV放送

「TVCM「西日本F H「こたえる銀行」」篇」

西日本F Hは、西日本シティ銀行と長崎銀行の行員が出演し、長崎の観光地などを背景に、お客さまの思いに「こたえる銀行」をコンセプトとしたTVCMを制作し、2019年3月1日より長崎地区で放送しています。

「TV番組「まちが★スキ」」

また、2018年4月より、福岡地区で放送しているTV番組「まちが★スキ」を2019年4月より長崎地区でも放送を開始しました。



TVCM 西日本F H「こたえる銀行」篇



毎週金曜日 22時54分～23時00分
NIB長崎国際テレビにて放送中

「NCB医療経営セミナー in 長崎」を開催

in 長崎

西日本シティ銀行と長崎銀行は、2019年5月23日、医療機関の皆さまを対象とした「NCB医療経営セミナー in 長崎」を開催しました。

第一部では、長崎県医療政策課 課長補佐 井手 美和子氏に「地域医療構想・医療政策の方針」について、第二部では、医療コンサルタント 酒井 麻由美氏に「2020年診療報酬改定を見据えた経営戦略」についてご講演いただきました。



「NCB医療経営セミナー in 長崎」



最近のトピックス

西日本F Hグループが提供するサービスやチャネルなど最新のトピックスをご紹介します。

SERVICE

九州地銀グループ初！ 人材紹介業への参入

NCBリサーチ&コンサルティングは、有料職業紹介事業者の許認可を取得し、九州地銀グループ初となる人材紹介業に、2019年4月より参入しました。

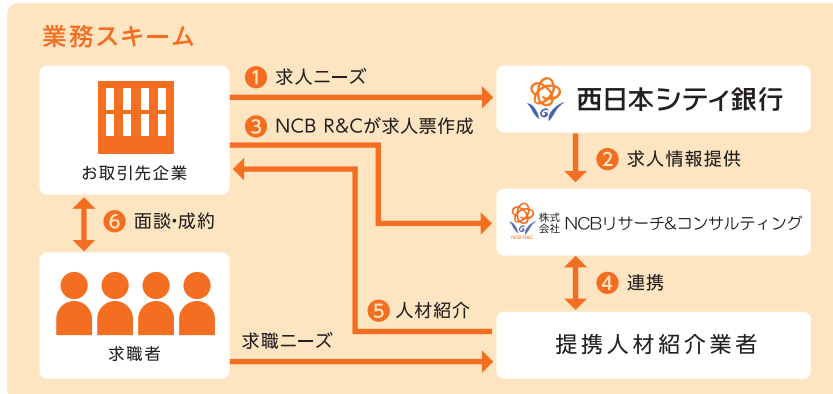
人口減少や少子高齢化の進展にともない、「人材」に関する経営課題が増加しています。

人材紹介業への参入は、当社が掲げる総合金融サービスのさらなる向上と、お取引先企業の人材に関する課題解決につながる取組みです。

今後、お取引先企業のみならず、さまざまな課題解決、ひいては地域経済の発展に取り組みまいります。

NCBリサーチ&コンサルティング

西日本シティ銀行



SHOP CHANNEL

西日本シティ銀行

大橋駅前支店・大橋支店(ブランチinブランチ方式)と別府支店がリニューアルオープン

西日本シティ銀行は、2019年4月22日、大橋駅前支店・大橋支店を同一建物内にリニューアルオープンしました。新店舗は、西日本シティ銀行で初めてとなるブランチinブランチ方式(※1)を採用するとともに、「ローン営業室」や「西日本シティTT証券」などのご相談機能を充実させ、お客さまのさまざまな金融ニーズにワンストップでお応えする「まるごとサポート店舗」です。

また、2019年5月20日には、別府支店をリニューアルオープンしました。別府市の伝統工芸である竹細工を内装に取り入れるなど、あたたかみのある店舗をイメージしています。また、落ち着いた雰囲気でご相談いただける「相談ブース」や「全自動貸金庫」、「バリアフリー設備(多目的トイレ等)」の設置など店舗機能が充実した店舗として、お客さまに快適にご利用いただけるよう工夫しています。



大橋駅前支店・大橋支店

大橋駅前支店・大橋支店 各階の機能

4F	セミナールーム
3F	ローン福岡南営業室 西日本シティTT証券
2F	大橋駅前支店・大橋支店 (預金窓口・融資窓口)
1F	ATMコーナー 全自動貸金庫

(※1) ブランチinブランチ方式…複数の支店が同一建物内で営業する方式です。移転に伴う、「店名」・「店番」・「口座番号」の変更は無く、現在ご利用中の通帳・カードは継続してご利用いただけます。



別府支店

西日本シティ銀行

「創立15周年記念事業」

「創立15周年記念ロゴマーク」の制定

西日本シティ銀行は、旧・西日本銀行と旧・福岡シティ銀行の合併により誕生し、2019年10月1日で創立15周年を迎えます。

これまでのご愛顧への感謝と、これからも地域の発展のために、「ココロ」をひとつに知恵を絞り、ベストな「コトエ」をお届けするという想いを込めて、「創立15周年記念ロゴマーク」を制定しました。このロゴマークは、創立15周年の「15」の文字に、当行キャラクター「ワンク」が寄り添い、お客さま、地域の皆さまとともに、新時代を未来に向けて進んでいくイメージをデザインしました。



創立15周年記念ロゴマーク

西日本シティ銀行

ワンクの

特設Webサイト

「ワンクハウス」を公開

西日本シティ銀行は、2019年6月5日、「ワンク」を紹介するWebサイト「ワンクハウス」を公開しました。サイトをワンクファミリーのハウスに見立て、ルームごとにワンクに関する各種情報を掲載しています。是非ご覧ください。

特設Webサイト「ワンクハウス」

「ワンクハウス」のURL <https://www.ncbank.co.jp/corporate/onekhouse/>

西日本シティ銀行

「NCBクリエイティブコンテスト」と

「JR博多シティサイネージジャック」を実施

西日本シティ銀行は、2019年新生活応援キャンペーンの二環として、「NCBクリエイティブコンテスト」を実施しました。

このコンテストは、デザイン・クリエイティブ分野での活躍を目指す地元福岡の学生や卒業生のみならず、西日本シティ銀行と取引をはじめたくなる「デザイン」をテーマに作品を募集したものです。

西日本シティ銀行による一次選考と一般の皆さまからの西日本シティ銀行アプリによる投票の結果、ヨシフクホノカさん(西南学院大学卒業)の作品を大賞に決定し、受賞作品を本店壁面広告やキャンペーンのポスターに採用しました。

また、2019年3月22日より、この作品による「JR博多シティサイネージジャック」を、約1ヶ月間実施しました。作品は、JR博多シティアミューズプラザ博多・アミューズプラザ博多館内に設置している124基のサイネージにて順次放映したほか、JR博多シティ初の取組みとなるすべてのサイネージが揃う「サイネージジャック」として放映しました(毎日3回)。



ヨシフクホノカさんの大賞受賞作品



「JR博多シティサイネージジャック」

グループ一丸となった「まるごとサポート」の展開

西日本FHグループは、高度化・多様化するさまざまなお客さまの金融ニーズにおこたえします。

創業支援

西日本シティ銀行

株式会社Zero-Ten Park との業務連携及びサービス開始

西日本シティ銀行は、株式会社Zero-Ten Parkと業務連携契約を締結し、スタートアップ企業を含めた小規模事業者支援策の拡充のため、福岡市内に拠点を置きたい法人・個人事業主のお客さまに、「The Company」の特別利用プランを紹介するサービスを、2019年3月1日より開始しました。



株式会社Zero-Ten Parkが運営する
コワーキングスペース「The Company」

SERVICE

西日本シティ銀行

「全国の銀行で初！」 株式会社 テンポスバスターズとの 業務連携及びサービス開始

西日本シティ銀行は、株式会社テンポスバスターズと全国の銀行で初めて飲食店支援を目的とした業務連携契約を締結し、2019年3月1日よりサービスを開始しました。このサービスは、飲食業向けの創業支援を拡充するため、これから開業する事業者を含めた飲食業の法人・個人事業主のお客さま向けに、同社が提供する飲食店サポートサービスの紹介をするものです。

SERVICE

西日本シティ銀行

fabbitt 共同事業体との連携強化について

西日本シティ銀行は、北九州市の創業支援中核施設「COMPASS 小倉」の指定管理業務を受託しているfabbitt共同事業体と創業支援に係る取組みで、2019年3月1日より連携を強化しました。

西日本シティ銀行は、「COMPASS 小倉」が2018年6月にリニューアルオープンして以降、北九州地区の創業事業者を支援するため、創業セミナーや個別相談会を同事業体と連携し、実施してきました。

今回の新たな連携策として、同事業体の自主事業であるコワーキングエリアへの入居希望者に対して特別利用プランを紹介するほか、同事業体が実施するアクセラレーションプログラム（※1）のサポーターとして、行員を派遣しています。



「COMPASS 小倉」

（※1）アクセラレーションプログラムとは、スタートアップ企業がプログラムに参加する多数の専門家から短期間で事業の成長に必要な知識や手段を習得できるプログラムです。

西日本シティ銀行

NCBリサーチ&コンサルティング

「アジアビジネスセミナー」を開催

西日本シティ銀行は、2019年1月18日、NCBリサーチ&コンサルティングとの共催により、外国人留學生の戦略的採用と課題をテーマとした「アジアビジネスセミナー」を開催しました。

本セミナーでは、多くの外国人留學生を受け入れ、グローバルな人材を輩出している立命館アジア太平洋大学の事務局長村上健氏を講師としてお招きし、外国人留學生の特長を活かした採用・人事戦略及びグローバル展開を指向する地域企業向けに提供する各種プログラムについて講演いただきました。



「アジアビジネスセミナー」

西日本シティ銀行

「創立15周年記念事業」

「アジア金融・経済フォーラム2019」を開催

西日本シティ銀行は、2019年2月14日、創立15周年を記念して「アジア金融・経済フォーラム2019」を開催しました。

第一部の基調講演では、アジア開発銀行（ADB）総裁の中尾武彦氏をお招きし、アジア経済の現状と見通しに関する最新の情報についてご講演いただきました。また、第二部のパネルディスカッションでは、アジア各地において事業を展開されている国内大手企業トップの方々等をパネリストにお迎えし、現地の現況と直面している課題等をお話しいただくとともに、今後のアジア市場におけるビジネスの方向性や課題の解決策等についても掘り下げて討論していただきました。



講演される中尾 武彦氏



パネルディスカッション



モデレーターの久保田会長

「アジア金融・経済フォーラム2019」

第一部 基調講演

講演者 中尾 武彦氏（アジア開発銀行 総裁）

第二部 パネルディスカッション

パネリスト 中尾 武彦氏（アジア開発銀行 総裁）

石川 和秀氏（政府代表 / 特命全權大使（関西担当））

（前駐フィリピン大使）

山田 匡通氏（株式会社イトーキ 代表取締役会長）

倉富 純男氏（西日本鉄道株式会社 代表取締役社長）

西村 松次氏（株式会社九電工 代表取締役社長）

モデレーター 久保田 勇夫（西日本シティ銀行 取締役会長）

※役職名等は、開催時のものです。

SERVICE

機能追加の概要

① カードローン口座照会機能の追加

ご本人さま名義のカードローン口座をサブ口座としてアプリに登録することで、カードローン口座でも「残高・明細照会」機能が利用できます。
※専用カードがあるカードローン口座は、登録いただけません。



② Android指紋認証機能の追加

Android端末でも、「残高・明細照会」をご確認いただく際に、指紋認証機能を使用できます。(アプリ暗証番号の入力が不要)
※iPhone端末では「TouchID」、「FaceID」で実装済みの機能です。



③ 投資信託の運用損益照会

アプリから1タップで、保有する投資信託の運用損益が照会できます。



④ 画面デザインの変更

アプリのトップ画面のデザインを変更しました。



西日本シティ銀行

「西日本シティ銀行アプリ」の機能追加で利便性が向上

西日本シティ銀行は、「西日本シティ銀行アプリ」(4月末現在…47万ダウンロード)にカードローンの残高・明細が照会できる機能など、さまざまな機能の追加を行いました。

フィンテックへの取り組み

西日本F Hグループは、お客さまの利便性向上に資する金融サービスを充実させるため、フィンテックをはじめとする先進的な技術を活用し、好評な「西日本シティ銀行アプリ」などさまざまなサービスを提供しています。

SERVICE

西日本シティ銀行

「NCBアプリペイ」による

粕屋町の税公金

お支払いサービス開始

西日本シティ銀行は、2019年4月1日より、「西日本シティ銀行アプリ(NCBアプリペイ)」による粕屋町の税公金のお支払いサービスを開始しました。

本サービスを利用することにより、いつでも、どこでも、簡単・便利に税公金のお支払いが可能となり、粕屋町では地域住民サービスの向上が期待されます。

カメラを起動してバーコードを読み取ることでお支払いが完了!



- | | |
|---------------------|--|
| 粕屋町で取扱いを開始した納付書・請求書 | <ul style="list-style-type: none"> ●住民税 ●固定資産税 ●軽自動車税 ●国民健康保険税 ●介護保険料 ●後期高齢者医療保険料 ●保育料 ●水道料金 |
|---------------------|--|

西日本シティ銀行

「西日本シティ銀行 口座開設アプリ」の取扱開始

西日本シティ銀行は、2019年2月28日より、「西日本シティ銀行口座開設アプリ」の取扱いを開始しました。

本アプリでは、運転免許証をスマートフォンで撮影し、ご住所・お名前・ご勤務先等の必要事項を入力いただくだけで、簡単に口座開設手続きが完了します（キャッシュカードはご自宅に郵送）。

手続きの流れ

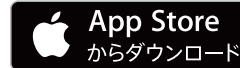
- STEP 1** 口座開設アプリをダウンロード
- STEP 2** アプリを起動し、ガイダンスに沿ってお手続き
(運転免許証の撮影+必要事項の入力)
- STEP 3** キャッシュカードのお受取り
(通帳は発行されません。)(「本人限定郵便」で登録住所へお届け)

ダウンロードはコチラ

Androidの方はコチラ



iPhoneの方はコチラ



*AppleおよびAppleロゴは米国その他の国で登録されたApple Inc.の商標です。Apple StoreはApple Inc.のサービスマークです。*Google playおよびGoogle playロゴは、Google Inc.の商標です。

西日本シティ銀行

「口座開設ナビ」タブレットの導入

西日本シティ銀行は、2019年4月15日より、窓口にご来店のお客様の新規口座開設のお手続きをタブレットで受付する「口座開設ナビ」を導入しました。

これにより、申込書類の「記入レス・」受付から口座開設までの時間短縮を実現しました。

口座開設ナビ

対象者

個人のみ

対象業務

普通預金新規口座開設



◎口座開設までの流れ

- 1 普通預金新規口座開設のお客さまご来店
- 2 受付シートのご記入
- 3 「口座開設ナビ」でお受付
 - 受付担当者(行員)が口座開設に必要な情報を聞き取りながらタブレットを操作
 - タブレットに入力した情報により、「QRコード」を作成
 - お客さまによる2回の「電子署名」と法令に基づく確認項目への「同意」「確認」入力
- 4 口座開設のお手続き(端末オペレーション等)
 - 「QRコード」を使用し、事務手続きを簡略化
- 5 ご通帳・キャッシュカードお渡し

西日本シティ銀行

スマホ決済サービスへの チャージ機能を充実

西日本シティ銀行は、スマホ決済サービスである「PayPay」に加えて、「LINE Pay」・「J-Coin Pay」・「メルペイ」など、西日本シティ銀行の口座からチャージできる機能の提供を2019年1月以降、順次開始しました。(当行の普通預金(総合口座を含む)のキャッシュカードをお持ちの個人のお客さまが対象となります。)

西日本シティ銀行
普通預金口座からチャージOK!



LINE Pay





西日本シティ銀行

「全国の銀行で初！」

在庫の再流通支援サービスの取扱い開始

西日本シティ銀行は、2019年4月8日より、佐川急便株式会社及び株式会社SynaBizと連携し、全国の銀行で初めてとなる「在庫の再流通支援」を目的としたサービスの取扱いを開始しました。

お客さまは、本サービスの活用により、在庫の保管・廃棄コストの抑制や廃棄ロスの削減が可能となり、社会課題の解決と国連が提唱するSDGsの実現が期待できます。

西日本シティ銀行は、SDGsの趣旨に賛同するとともに、今後も法人のお客さまの成長・発展への支援を通じてさらなる地域活性化に貢献してまいります。

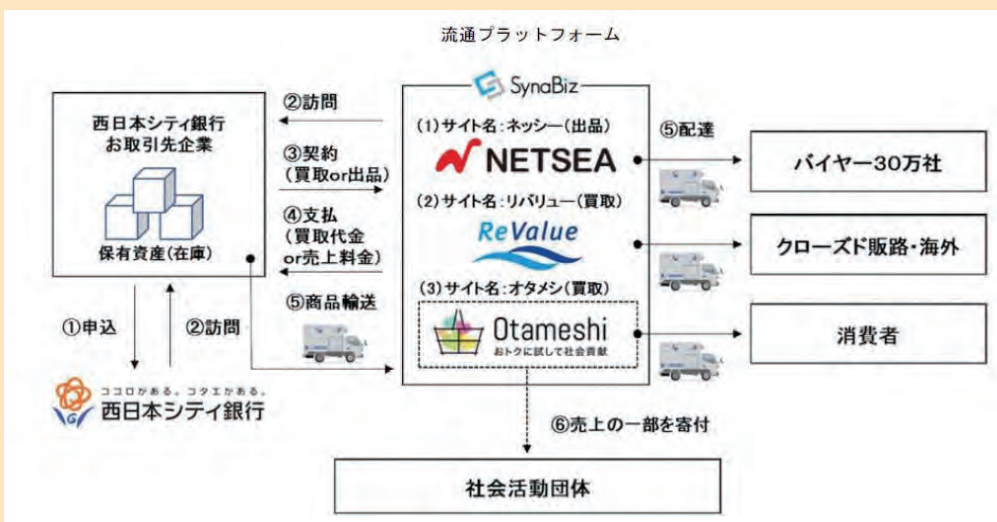
ESG(環境・社会・ガバナンス)への取組み

西日本FHBグループは、企業価値の向上と持続可能な社会の実現を目指し、地域金融機関ならではのESGの取組みを推進しています。

サービスイメージ

西日本シティ銀行のお取引企業向けに、SynaBizが運営する流通プラットフォームと佐川急便の配送網を活用し、企業が保有する資産(在庫)の再流通(販売)を支援します。

- 1 お客さまは、当行のお取引店にてお申込みします。
- 2 当行は、佐川急便またはSynaBizと一緒に訪問します。
- 3 本サービスを希望されるお客さまは、SynaBizと在庫買取もしくは商品出品についての契約を締結し、SynaBizが運営するいずれかのサイト上で再流通(販売)を行います。
- 4 SynaBizより、在庫の買取代金もしくは出品した商品の売上料金をお支払いします(商品の配送等は佐川急便が担います)。
- 5 佐川急便がお客さまからSynaBizの保管倉庫やそれぞれのユーザーへ商品を配送します。
- 6 「Otameshi」での販売売上の一部が社会活動団体へ寄付されます。





講演する久保田会長

西日本F Hは、最新の経済情報を、企業経営や景気の見通しの参考にしていただくため、2008年より毎年、久保田会長による新春経済講演会を開催しています。

2019年1月の講演会では、「2019年経済・金融の見通し」世界、日本、そして九州をテーマに、久保田会長が米国経済や米中貿易摩擦、九州経済の見通しなどについて講演しました。

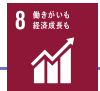
SOCIAL

西日本F H

西日本シティ銀行

NCBリサーチ&コンサルティング

第12回 久保田 勇夫
新春経済講演会の開催



2019年1月18日 日刊工業新聞

産業の育成、起業の促進などをテーマに、現在九州が抱える課題や未来の今後の九州のあり方について活発な意見交換がなされました。

「日刊工業新聞トップ対談企画」
「西日本シティ銀行頭取 谷川 浩道氏」×
九州大学総長 久保 千春氏

2019年1月18日の日刊工業新聞に、「『育てる産業』『育む人材』九州の未来想像力」と題して、西日本シティ銀行 谷川頭取と九州大学 久保総長によるトップ対談の特集記事が掲載されました。

対談は、日刊工業新聞社西部支社長 神坂 拓氏による司会のもと、2018年9月に移転完了した「九州大学伊都キャンパス」で行われ、未来の九州を担う人材の育成や

SOCIAL

西日本シティ銀行



大学	西南学院大学	福岡大学	九州産業大学
講座	実践仕事塾 ～金融スペシャリスト 育成講座～	金融業界 研究セミナー	キャリア演習 金融機関論
開講期間	2018年 10月23日 ～11月20日 毎週火曜日 全5回	2018年 11月9日・ 16日・22日 全3回	2018年9月19日 ～2019年1月9日 毎週火曜日 全20回

地元の大学に
講師を派遣

西日本シティ銀行は、地域貢献の一環として、西南学院大学、福岡大学、九州産業大学に役員を講師として派遣し、主に金融をテーマとした講義を行いました。

今後も、地域金融機関として、地域の人材育成に努めてまいります。

SOCIAL

西日本シティ銀行



アイカサ

「国内の金融機関で初！」
傘のシェアリングサービス
「アイカサ」と協働

西日本シティ銀行は、株式会社 Nature Innovation Group が提供する傘のシェアリングサービス「アイカサ」と国内の金融機関として初めて協働を開始しました。

「アイカサ」は、2018年12月に東京都渋谷区でサービスを開始した日本初の「傘のシェアリングサービス」で、LINE アプリから傘の設置場所の検索やレンタル、決済ができます。2019年5月21日より福岡市でもサービスが開始され、公共施設や商業施設などさまざまな場所で利用できます。

西日本シティ銀行では、本店営業部・福岡支店・大名支店に本サービスで使用する傘を設置しています。

ENVIRONMENT

西日本シティ銀行



公益財団法人 西日本国際財団

アジア貢献賞・アジアKids大賞・ アジア貢献賞創設20周年記念特別賞授賞式、 アジア貢献賞創設20周年記念フォーラムの開催

西日本国際財団は、2019年3月7日、「第20回西日本国際財団アジア貢献賞」「第14回西日本国際財団アジアKids大賞」「アジア貢献賞創設20周年記念特別賞」の授賞式を開催しました。

西日本国際財団は、国際相互理解の促進のため、九州・沖縄・山口地域でアジアとの国際交流に貢献している団体及び個人を、「アジア貢献賞」として毎年表彰しています。あわせて、未来を担う子どもたちの国際相互理解を育むため、アジア諸国との国際交流を通じて、国際親善に貢献している小・中学校、子ども団体等を、「アジアKids大賞」として表彰を行っています。今年も、アジア貢献賞創設20周年を記念し、「アジア貢献賞創設20周年記念特別賞」としての表彰も行いました。

また、同日、「アジア貢献賞創設20周年記念フォーラム」も開催しました。第一部の基調講演では、元駐中国大使の宮本アジア研究所 所長の宮本雄二氏をお招きし、アジアの情勢と役割についてご講演いただきました。第二部のパネルディスカッションでは、アジア各地において活躍されている方々に、アジアにおける日本の役割と課題について、掘り下げて討論していただきました。



アジア貢献賞・アジア貢献賞創設20周年記念特別賞授賞の皆さま



アジアKids大賞受賞の皆さま



アジア貢献賞創設20周年記念フォーラム

第20回西日本国際財団アジア貢献賞

団体・受賞者	有光 武元 氏	大分工業高等専門学校 足踏みミシンボランティア部(代表 田中 孝典 氏)	松本 敏秀 氏
活動地域	フィリピン 福岡県北九州市	東南アジア 大分県大分市	ミャンマー 福岡県福岡市
活動分野	教育・貧困・災害等支援	生活支援	医療支援・人材育成
活動内容	学校図書館建設や奨学金制度の創設、ストリートチルドレンの収容施設の井戸建設や農業支援などの支援活動を継続している。	大分県内外から寄贈された古いミシンを学生達が修理し、東南アジア諸国へ寄贈。現地にも技術指導に赴き交流を継続している。	貧困地区や少数民族を対象に、チャリティ歯科治療をはじめ、デンタルケア、健康指導など、地方を精力的に巡回して行っている。

第14回西日本国際財団アジアKids大賞

団体・受賞者	愛の泉保育園・愛の泉学童クラブ (園長 金城 キヨ子 氏)	能古島青少年育成協会 (代表 伊高 哲郎 氏)
活動地域	ミャンマー 沖縄県沖縄市	アジア各国 福岡県福岡市
活動内容	園の設立当初から継続している子ども達による地域清掃活動「クリーン隊」が中心となって集めた空き缶を換金して、ミャンマーへの「命の泉」井戸建設事業に協力している。これまでに6基が完成している。	「自然教室」の開催や能古島の中学生野球チームと中国の野球チームとの交流、「国際交流フェスティバル」等を開催し、青少年の国際人育成に取り組んでいる。

アジア貢献賞創設20周年記念特別賞

団体・受賞者	弓場 秋信 氏
活動地域	東南アジア各国 鹿児島県鹿児島市
活動内容	鹿児島県内の国際協力・国際交流を通じた青少年育成のリーダーとして、これまで27回にわたり、鹿児島県内の中高生の国際理解を深めるため、東南アジア諸国に滞在する国際協力体験事業を行っている。また、カンボジアでの学校建設、教育・農業支援を長年継続している。

アジア貢献賞創設20周年記念フォーラム

内容	第一部 基調講演 「アジアとは何か～激変する世界における役割～」 講演者:宮本 雄二氏(宮本アジア研究所 所長、元駐中国大使)
	第二部 パネルディスカッション 「アジアと共に歩む日本～今後の課題と役割～」 ファシリテーター:宮本 雄二氏(宮本アジア研究所 所長、元駐中国大使) パネリスト:井本 勝幸氏(ミャンマー統一民族連邦評議会コンサルタント) (第17回アジア貢献賞受賞者) 加藤 暁子氏(公益財団法人AFS日本協会 理事長) 川崎 隆生氏(株式会社西日本新聞社 取締役会長) (アジア貢献賞 審査委員長) コブカーン・ワッタナブランクル 氏(タイ王国 前観光大臣)

※過去の受賞者等の詳細は、公益財団法人 西日本国際財団のホームページからご覧になれます。URL:<https://www.nnk-foundation.jp/>

経営者賞表彰式

公益財団法人 経営者顕彰財団

経営者顕彰財団は、2019年4月23日、第46回「経営者賞表彰式」を開催しました。

経営者顕彰財

団は、九州・山口地域で中小企業等の経営・技術に優れた業績をおさめ、地域経済の発展に貢献された経営者を、1973年の開始以来毎年表彰しています。



経営者賞受賞の皆さま

第46回「経営者賞」受賞者

氏名	市川 雅夫 氏	平井 浩一郎 氏	吉川 卓志 氏
企業名 役職	アイティーアイ 株式会社 会長	株式会社ヒライ 代表取締役社長	吉川工業株式会社 代表取締役会長
所在地	長崎県長崎市 興善町6-7	熊本県熊本市西区 春日7丁目26-70	福岡県北九州市 八幡東区尾倉2-1-2
事業内容	医療機器、在宅 医療・産業・情報 処理産業機器等 の販売及びアフ ターサービス	弁当・惣菜等の製 造・販売、飲食店営 業	鉄鋼・チタン事業、エ レクトロニクス・精密 製品事業、表面処理 事業、ICTソリュー ション事業他

※過去の受賞者等、経営者賞の詳細は、公益財団法人 経営者顕彰財団のホームページからご覧になれます。
URL: <https://www.kk-foundation.jp/>



西日本 F H

西日本シティ銀行

公益財団法人 福岡文化財団

「NCB音楽祭2018

〜歓喜と喝采〜」を開催

西日本シティ銀行は、2018年12月8日、福岡文化財団との共催で、「NCB音楽祭2018〜歓喜と喝采〜」をアクロス福岡で開催しました。

地元ゆかりの音楽家の方々や九州交響楽団などにご協力いただき、西日本FHグループ社員と市民で結成された「NCBフロイデ合唱団」による第九・歓喜の歌の合唱のほか、アメリカをテーマにしたバレエ・ダンスやオペラなどバラエティに富んだ舞台を繰り広げ、約1500名の鑑賞者により会場は終始喝采の渦に包まれました。



NCB音楽祭2018 ～歓喜と喝采～



西日本シティ銀行

公益財団法人 福岡文化財団

〈創立15周年記念事業〉

「福岡ルネッサンスNCBプロムナードコンサート」がスタート

西日本シティ銀行と福岡文化財団が共催で1986年（昭和61年）以降、毎月開催してきた「プロムナードコンサート」は2019年4月で400回を迎えたこと、今年、西日本シティ銀行が創立15周年を迎えることを機に、「福岡ルネッサンス NCBプロムナードコンサート」として新たにスタートしました。

第1回目は、特別コンサートとして、2019年5月7日に「あいのホール」で開催し、地元出身のピアニスト吉田あかねさんと九州交響楽団のメンバーによるショパン作曲『華麗なる大円舞曲』やシューベルト作曲『鱒』などを、約250名の方に鑑賞いただきました。

なお、今後、「福岡ルネッサンス NCBプロムナードコンサート」は、本店エントランスホールで毎月開催します。コンサートの詳細やご鑑賞については、福岡文化財団のホームページをご覧ください。

また、毎回のコンサ

ート演奏は、ラジオ公開番組として、毎月最終日曜日の19時から19時30分にFM福岡で放送します。



第1回 福岡ルネッサンス NCBプロムナードコンサート

福岡文化財団ホームページ

URL: <https://www.bunka-zaidan.or.jp/>



中間市在住の0歳児の保護者に読書通帳を贈呈

〈読書通帳イメージ〉

（表）

（裏）



西日本シティ銀行は、2018年11月24日、「地方創生に関する包括協定」締結先の中間市に当行キヤラクター「ワンク」と中間市キヤラクター「なかつば」をデザインした「読書通帳」を贈呈しました。

この取組みは、中間市の総合戦略の実現に向け、図書館で利用できる読書通帳を市内在住の0歳児の保護者に贈呈することにより、読書を通じた良好な親子関係の構築や子どもの健全な育成、ひいては地域の活性化を支援するものです。

西日本シティ銀行

中間市の0歳児への「読書通帳」贈呈



長崎ランタンフェスティバル皇帝パレード

2019年2月5日～2月19日の間、長崎市で「長崎ランタンフェスティバル」が開催されました。

2月9日には、メインイベントのひとつである「皇帝パレード」が行われ、西日本シティ銀行長崎支店と長崎銀行の行員が合同で参加しました。

西日本シティ銀行

長崎銀行

長崎ランタンフェスティバルに参加



「明治通りパレード」

西日本シティ銀行は、2019年5月3日と4日に開催された福岡市民の祭り「第58回博多どんたく港まつり」に参加しました。

3日の午前には、「はかた駅前通りどんたくストリートパレード」に新入行員など約90名が参加しました。また、午後からの「明治通りパレード」には、川本副頭取をはじめ役員・支店長のほか、TVCMでもおなじみの若田部達さんにも参加いただきました。西日本シティ銀行CMソング『PASTEL』や『ワンク』のテーマ曲に合わせて、元気いっぱいの演技を沿道のみなさまにお届けしました。

本店前の「創立15周年記念」演舞台では、谷川頭取による舞台挨拶の後、久保田会長が「ふくはく文化塾」のメンバーとして博多にわかを披露しました。そのほかにも、新入行員によるパフォーマンス、NCBコールアカデミアによる合唱などにより、博多どんたくを盛り上げました。

西日本シティ銀行

創立15周年記念事業「博多どんたく港まつり」に参加



SOCIAL

西日本シティ銀行

金融リテラシー教育×創業支援 子ども向け体験型イベントを開催

西日本シティ銀行は、2018年12月23日、創業5年目の企業である株式会社ジヨイクリエイトとの共催で、「TAIKENプラスキッズフェスタX'mas」を旧大名小学校跡地の創業支援施設「フクオカグループネクスト」で開催しました。

本イベントは、金融リテラシー教育と創業支援を融合した子ども向け体験型イベントとして初めて開催し、会場には、当行のブースのほか、利き茶体験、記者体験、アナウンサー体験などができる多数のブースが集合し、約600名の親子が楽しく参加しました。



TAIKENプラスキッズフェスタX'mas 記者体験



SOCIAL

西日本シティ銀行

「第14回お金のがっこう」を開催

西日本シティ銀行は、2019年3月9日、10日の2日間にわたり、九州大学伊都キャンパスで開催された「ワークシヨップコレクションin福岡2019」(主催・NPO法人CANVAS/株式会社グッデイ)に参画し、金融リテラシー教育への取組みとして、「第14回お金のがっこう」などを開催しました。

九州大学の講義室では、小学生を対象に「お金のがっこう」を2日間で計4回開催し、各回定員100名の授業がすべて満員となりました。

また、西日本シティ銀行の出展ブースには「ワンク出張所」を設置し、銀行の窓口業務の体験や1億円の重さ体験、銀行の店舗内を360度見ることができるVR体験などを親子で楽しんでいただきました。他にも西日本シティ銀行のお取引先である大段ボール工業株式会社とコラボレーションし、段ボールで貯金箱をつくるワークシヨップも開催しました。

「ワンク出張所」は2日間で2000名を超える来場者となり、参加した子どもたちの多くが「楽しかった」「また参加したい」と話すなど、大盛況でした。



第14回お金のがっこう

GOVERNANCE

西日本F H

グループ経営管理の PDCAサイクル

西日本F H(持株会社)が経営管理に特化し、グループ各社が事業執行に専念することにより、グループ経営管理の高度化を図っています。

西日本F H

西日本シティ銀行

監査等委員会設置会社

ガバナンスの強化及び迅速かつ効率的な意思決定体制を構築しています。

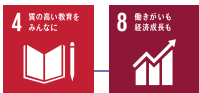
西日本F H

「指名・報酬諮問委員会」の新設

取締役会の諮問に応じて経営陣幹部選解任や報酬体系について答申する「指名・報酬諮問委員会」を新設しました。



©GROOVISIONS



「地域の元気を応援する」をコンセプトに、ひと・まち・しごとにスポットを当て、地域の活性化に向けたさまざまな取組みを紹介しています。なお、2019年4月より、長崎地区でも放送を開始しました。

福岡地区

毎週土曜日 9時25分～9時30分
FBS福岡放送にて放送中

長崎地区

毎週金曜日 22時54分～23時00分
NIB長崎国際テレビにて放送中

番組専用サイトはこちら

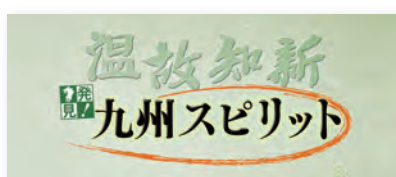
<https://www.ncbank.co.jp/machisuki/>



まちが★スキー



志・情熱企業

温故知新
「発見!九州スピリット」「発見!!金のタマゴ」
九州の元気な
スタートアップ企業

地元企業の中から特徴ある技術力やノウハウ等を持ち、未来に飛躍する地元企業の志と情熱を紹介しています。

毎週土曜日 18時50分～18時54分 RKB毎日放送にて放送中

RKB毎日放送番組ホームページはこちら

<https://rkb.jp/jyonetsu/>

番組放送開始10周年を記念し、2018年12月29日に特別番組「志・情熱企業Leaders ～経営者たちの情熱～」を福岡地区と大分地区で放送しました。

番組You Tube RKB毎日放送公式チャンネルでもご覧になれます。

RKB毎日放送公式チャンネルはこちら

https://youtu.be/r8_4kgZgO18

進取の気性にとんだ九州人スピリットをテーマに、意外に知られていない人物、出来事、祭りなどの幅広い分野で「知らなかった九州」を紹介しています。

毎週土曜日 23時10分～23時15分
KBC九州朝日放送にて放送中

KBC九州朝日放送 番組ホームページはこちら

http://www.kbc.co.jp/tv/kyushu_spirit/

金融リテラシー教育と創業支援をテーマとした特別番組を、3月21日に福岡地区(TVQ九州放送)と3月24日に長崎地区(NIB長崎国際テレビ)で放送しました。

TVQ九州放送の番組ホームページからでもご覧になれます。

TVQ九州放送番組ホームページはこちら

<https://www.tvq.co.jp/special/kinnotamago/>

西日本シティ銀行提供TV番組の紹介

西日本シティ銀行

西日本F.H

安心して向けた 取組み

西日本シティ銀行及び長崎銀行では、インターネットバンキングを利用した不正送金や、二重電話詐欺（振り込め詐欺）等の金融犯罪の被害未然防止に向けた取組みを行っています。

インターネットバンキングのセキュリティ対策強化に向けた取組み

西日本シティ銀行のシステム対策例

NCBダイレクト（個人のお客さま向け）では、普段とは異なるパソコンから接続された場合は「合言葉」による追加認証を行うなどの対策に取り組んでいます。

特に、安全性が飛躍的に向上する「ワンタイムパスワード」のご利用を強くお勧めしており、携帯・スマートフォンをお持ちのお客さまにはアプリ（ソフトウェア）を、お持ちでないお客さまにはキーホルダー型のワンタイムパスワード生成機（ハードトークン）をご提供しています。また、一定金額以上の振込みについては、ワンタイムパスワードのご利用を必須としています。



スマートフォン
ハードトークン

NCBビジネスダイレクト（法人・個人事業主のお客さま向け）においては、ソフトウェアやハードトークンで利用可能な「ワンタイムパスワード」を必須としているのに加え、利用登録したパソコン以外から接続できない仕組みとしております。

ながさきインターネットバンキング（個人のお客さま向け）には、「ワンタイムパスワード」または、「メール通知パスワード」を導入し、いずれかを必ずご利用いただくことで、安全性の向上を図っております。

長崎銀行のシステム対策例

ながさきインターネットバンキング（個人のお客さま向け）には、（法人・個人事業主のお客さま向け）には、登録したパソコン以外からは接続できない仕組みを導入するとともに、キーホルダー型のワンタイムパスワード生成機（ハードトークン）で利用可能な「ワンタイムパスワード」を必ずご利用いただいています。

ながさきビジネスダイレクト（法人・個人事業主のお客さま向け）には、登録したパソコン以外からは接続できない仕組みを導入するとともに、キーホルダー型のワンタイムパスワード生成機（ハードトークン）で利用可能な「ワンタイムパスワード」を必ずご利用いただいています。

お客さまご利用のパソコンへの対策

西日本シティ銀行及び長崎銀行のホームページでは、偽サイトへの誘導（フィッシング）や、ウィ

ルス（スパイウェア）によるパスワード等の窃取を防止する、「不正送金対策ソフト」を無料でご提供しています。

二重電話詐欺（振り込め詐欺）などの被害未然防止に向けた取組み

携帯電話をしながら、ATMをご利用のお客さまや、窓口でのご出金のお客さまには、金融犯罪被害を防止する観点から、行員がお声かけをさせていただくことがございますので、何卒ご理解のほどお願いします。また、私ども職員や警察官が電話や店舗外で、暗証番号や口座番号や残高を尋ねたり、ATMの操作を直接電話で依頼することはありませんのでご注意ください。

障がいのあるお客さまに配慮した取組み

全ての営業店に1台以上、店舗外ATMコーナーとあわせて、西日本シティ銀行は合計675台、長崎銀行は合計44台の視覚障がい者対応ATMを設置しています（2019年3月末現在）。

また、代筆・代読のご対応を実施しています。詳しくは、お気軽に取引店窓口にお問い合わせください。

西日本シティ銀行のお客さま ご相談・お問い合わせ

●ご意見・苦情

◎西日本シティ銀行お客様サービス室

☎0120-162-105 または **FAX.092-461-1916**

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00
（祝日及び銀行休業日は除きます）

24時間

◎西日本シティ銀行の本支店窓口

●金融犯罪被害に関するご相談（振り込め詐欺・預金不正引出し等）

◎金融犯罪被害に関する相談窓口

☎0120-797-919

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00（祝日及び銀行休業日は除きます）

※営業時間外（平日夜間・休日）の場合はATMセンター宛にご連絡ください。
フリーダイヤル:0120-252-557

●金融ADR（裁判外紛争解決手続き）制度 指定紛争解決機関

◎全国銀行協会 相談室

TEL.0570-017109 または **TEL.03-5252-3772**

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00（祝日及び銀行休業日は除きます）

◎信託協会 信託相談所

☎0120-817335 または **TEL.03-6206-3988**

【受付時間】月～金曜日9:00～17:15（祝日及び銀行休業日は除きます）

●金融円滑化相談窓口

すべての営業店のご融資窓口及びビジネスサポートセンター、ローン営業室においてご相談・お申込みください。

●ローンのご返済にお困りの皆さまへの相談窓口

◎ローン返済相談窓口

☎0120-014-862

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00（祝日及び銀行休業日は除きます）

長崎銀行のお客さま ご相談・お問い合わせ

●ご意見・苦情

◎長崎銀行 お客さま相談室

TEL.095-829-4100 または **FAX.095-821-3185**

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00
（祝日及び銀行休業日は除きます）

24時間

◎長崎銀行の本支店窓口

●金融犯罪被害に関するご相談（振り込め詐欺・預金不正引出し等）

◎金融犯罪被害に関する相談窓口（事務部）

TEL.095-816-2211

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00（祝日及び銀行休業日は除きます）

●金融ADR（裁判外紛争解決手続き）制度 指定紛争解決機関

◎全国銀行協会 相談室

TEL.0570-017109 または **TEL.03-5252-3772**

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00（祝日及び銀行休業日は除きます）

●金融円滑化相談窓口

すべての営業店のご融資窓口及びながさきローンプラザにおいてご相談・お申込みください。

●住宅ローンおよびカードローンのご返済にお困りの皆さまへの相談窓口

◎住宅ローンおよびカードローン返済相談窓口

TEL.095-828-0558

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00（祝日及び銀行休業日は除きます）

損益の状況

【連結】

【西日本シティ銀行単体】

【長崎銀行単体】

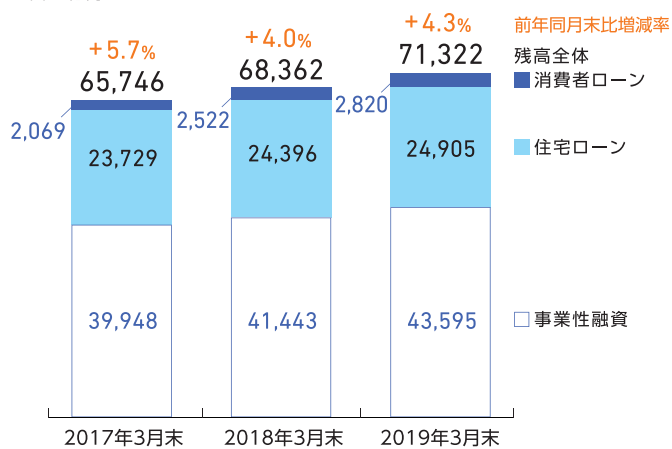
	単位:百万円			単位:百万円			単位:百万円		
	2019/3期 通期	前期比	2018/3期 通期	2019/3期 通期	前期比	2018/3期 通期	2019/3期 通期	前期比	2018/3期 通期
経常収益	143,740	1,127	142,613	128,241	△11,716	139,957	4,882	△550	5,432
業務粗利益	116,939	△1,050	117,989	98,462	△49	98,511	3,538	△85	3,623
資金利益	96,753	1,421	95,332	90,611	1,323	89,288	3,993	△135	4,128
役員取引等利益	20,844	△230	21,074	10,411	△113	10,524	△454	51	△505
特定取引利益	1,433	△1,056	2,489	10	5	5	-	-	-
国債等債券損益	△758	△452	△306	△758	△453	△305	△0	0	△0
その他業務利益	△1,334	△733	△601	△1,813	△812	△1,001	△0	0	△0
経費(除く臨時処理分) △	80,710	△2,469	83,179	68,511	△2,527	71,038	3,420	104	3,316
実質業務純益	36,228	1,419	34,809	29,951	2,478	27,473	118	△188	306
株式等関係損益	3,650	1,000	2,650	3,113	△13,192	16,305	-	-	-
信用コスト △	5,519	2,451	3,068	3,552	1,586	1,966	△120	205	△325
その他臨時損益	52	506	△454	20	720	△700	39	△20	59
経常利益	34,412	475	33,937	29,533	△11,577	41,110	277	△414	691
特別損益	△358	1,157	△1,515	△355	1,141	△1,496	△2	8	△10
法人税等 △	10,910	755	10,155	9,207	1,265	7,942	50	△78	128
非支配株主に帰属する当期純利益 △	244	△554	798						
当期純利益(連結は親会社株主帰属分)	22,899	1,432	21,467	19,970	△11,701	31,671	225	△326	551
前期の特殊要因*の影響を除く				19,970	2,017	17,953			

*西日本シティ銀行において、西日本FH(親会社)株式を同社へ売却したことに伴う株式等売却益(13,718百万円)を計上。

貸出金

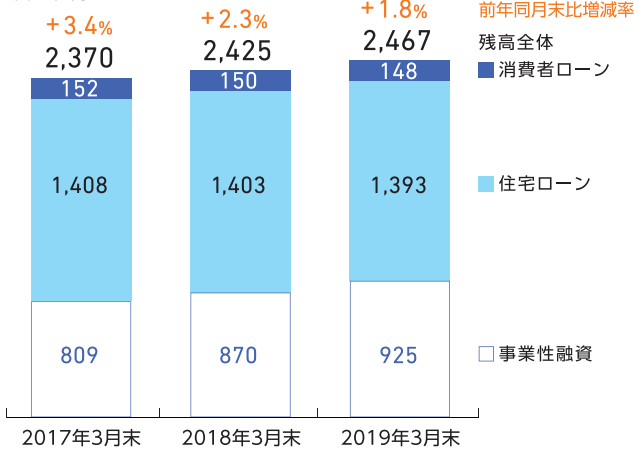
【西日本シティ銀行単体】

単位:億円



【長崎銀行単体】

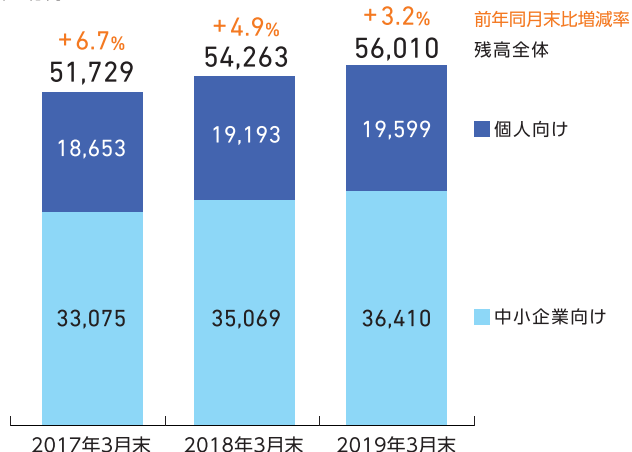
単位:億円



中小企業等貸出金

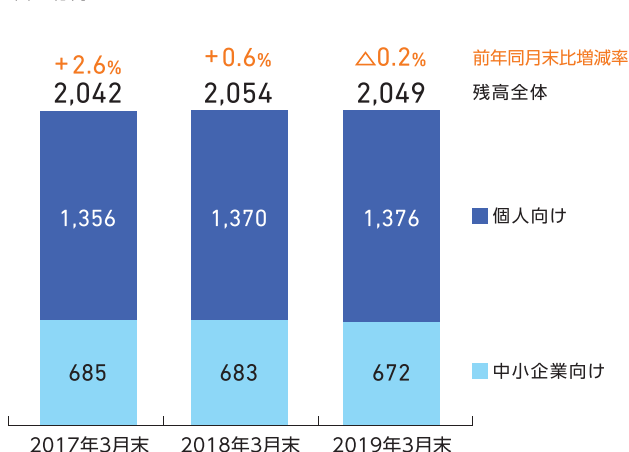
【西日本シティ銀行単体】

単位:億円



【長崎銀行単体】

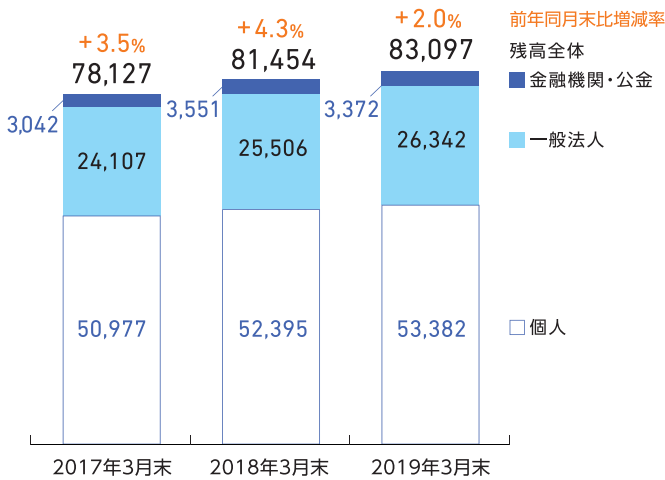
単位:億円



預金・譲渡性預金

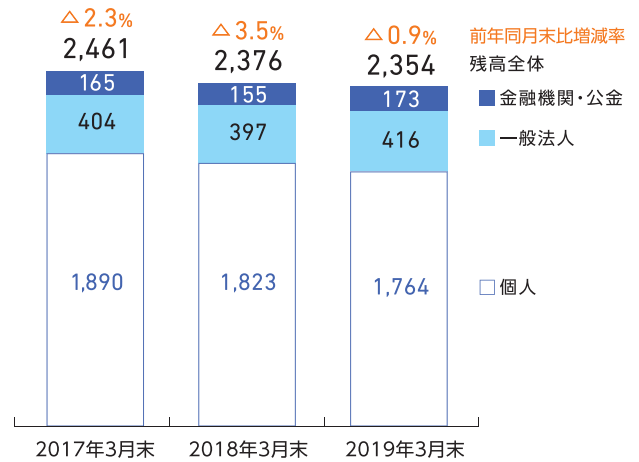
【西日本シティ銀行単体】

単位：億円



【長崎銀行単体】

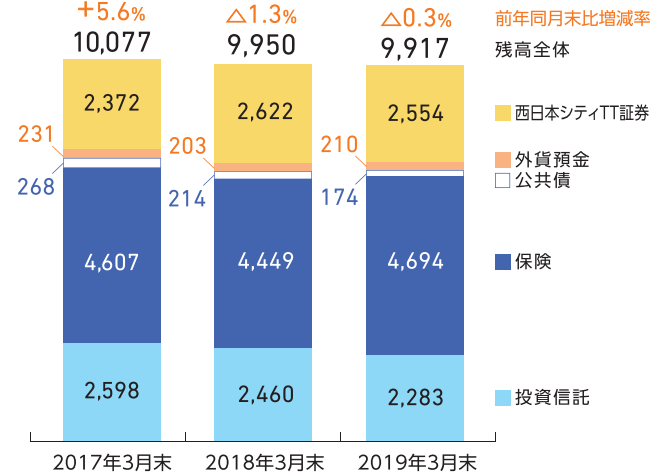
単位：億円



預り資産の残高

【グループ合算】

単位：億円

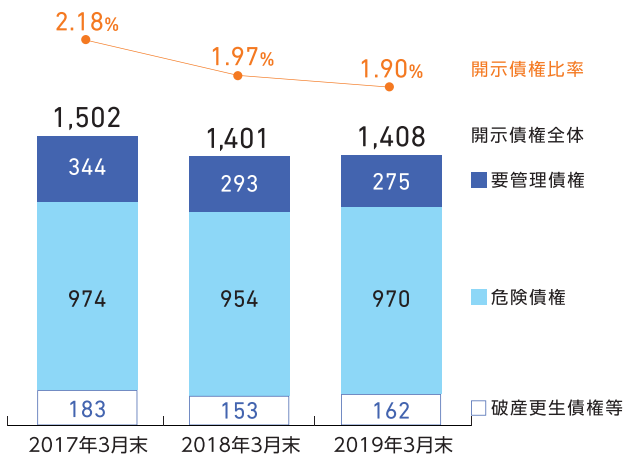


(注) グループ合算 = 西日本シティ銀行 + 長崎銀行 + 西日本シティTT証券

金融再生法開示債権

【連結】

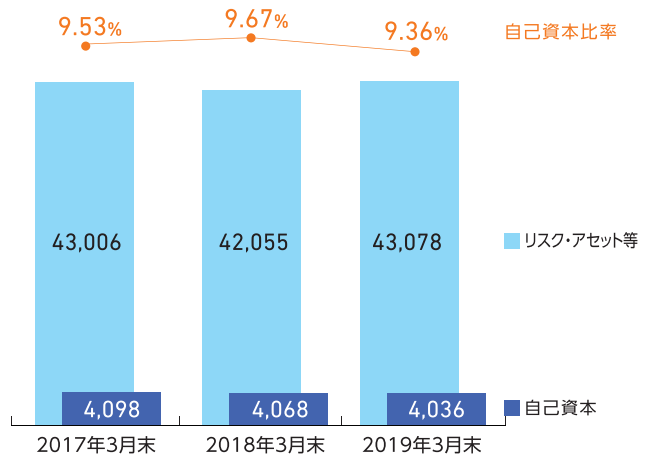
単位：億円



自己資本比率

【連結】

単位：億円



(注) リスク・アセット等の算出において次の手法を採用しています。
信用リスク・アセット額…基礎的內部格付手法
オペレーショナル・リスク相当額…粗利益配分手法

プロフィール

●株式会社 西日本フィナンシャルホールディングス

設立日	2016年10月3日		
本店所在地	福岡市博多区博多駅前三丁目1番1号		
代表者	取締役社長(代表取締役) 谷川 浩道		
事業内容	銀行持株会社		
資本金	500億円	上場証券取引所	東京証券取引所及び福岡証券取引所
決算期	3月31日	単元株式数	100株

グループ会社の概要

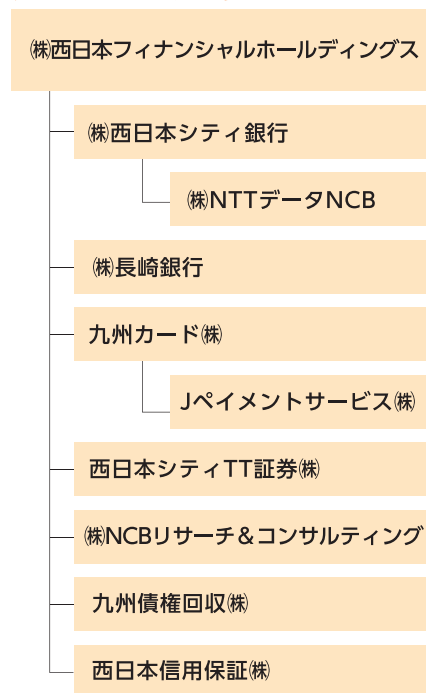
●株式会社 西日本シティ銀行

設立日	1944年12月1日		
本店所在地	福岡市博多区博多駅前三丁目1番1号		
代表者	取締役頭取(代表取締役) 谷川 浩道		
事業内容	銀行業		
店舗数	175か店		
従業員数	3,703名		
総資産	10兆2,187億円		
資本金	857億円		
総預金	8兆3,097億円		
総貸出金	7兆1,322億円		
預り資産残高	6,896億円		

●株式会社 長崎銀行

設立日	1912年11月11日		
本店所在地	長崎市栄町3番14号		
代表者	取締役頭取(代表取締役) 開地 龍太郎		
事業内容	銀行業		
店舗数	23か店		
従業員数	241名		
総資産	2,869億円		
資本金	61億円		
総預金	2,354億円		
総貸出金	2,467億円		
預り資産残高	466億円		

グループストラクチャー



●九州カード 株式会社

本店所在地	福岡市博多区博多駅前四丁目3番18号 サンライフセンタービル		
代表者	取締役社長(代表取締役) 小石原 洸		
事業内容	クレジットカード業・信用保証業		
総資産	454億円		
資本金	1億円		
会員数	889千人	加盟店数	54千店
カード取扱高	3,356億円	保証残高	1,108億円

●西日本シティTT証券 株式会社

本店所在地	福岡市博多区博多駅前一丁目3番6号		
代表者	取締役社長(代表取締役) 定野 敏彦		
事業内容	金融商品取引業		
総資産	126億円		
資本金	30億円		
預り資産残高	2,554億円		

●株式会社 NCBリサーチ&コンサルティング

本店所在地	福岡市博多区下川端町2番1号 博多座・西銀ビル13階		
代表者	取締役社長(代表取締役) 石田 保之		
事業内容	調査研究業・経営相談業		
総資産	8億円		
資本金	0.2億円		
会員数	4千社		

●九州債権回収 株式会社

本店所在地	福岡市博多区博多駅前二丁目5番19号 サンライフ第三ビル3階		
代表者	取締役社長(代表取締役) 北崎 道治		
事業内容	債権管理回収業		
総資産	30億円		
資本金	5億円		

●西日本信用保証 株式会社

本店所在地	福岡市博多区博多駅前三丁目1番1号		
代表者	取締役社長(代表取締役) 石田 保之		
事業内容	信用保証業		
総資産	152億円		
資本金	0.5億円		
保証残高	1兆2,367億円		

●Jペイメントサービス 株式会社

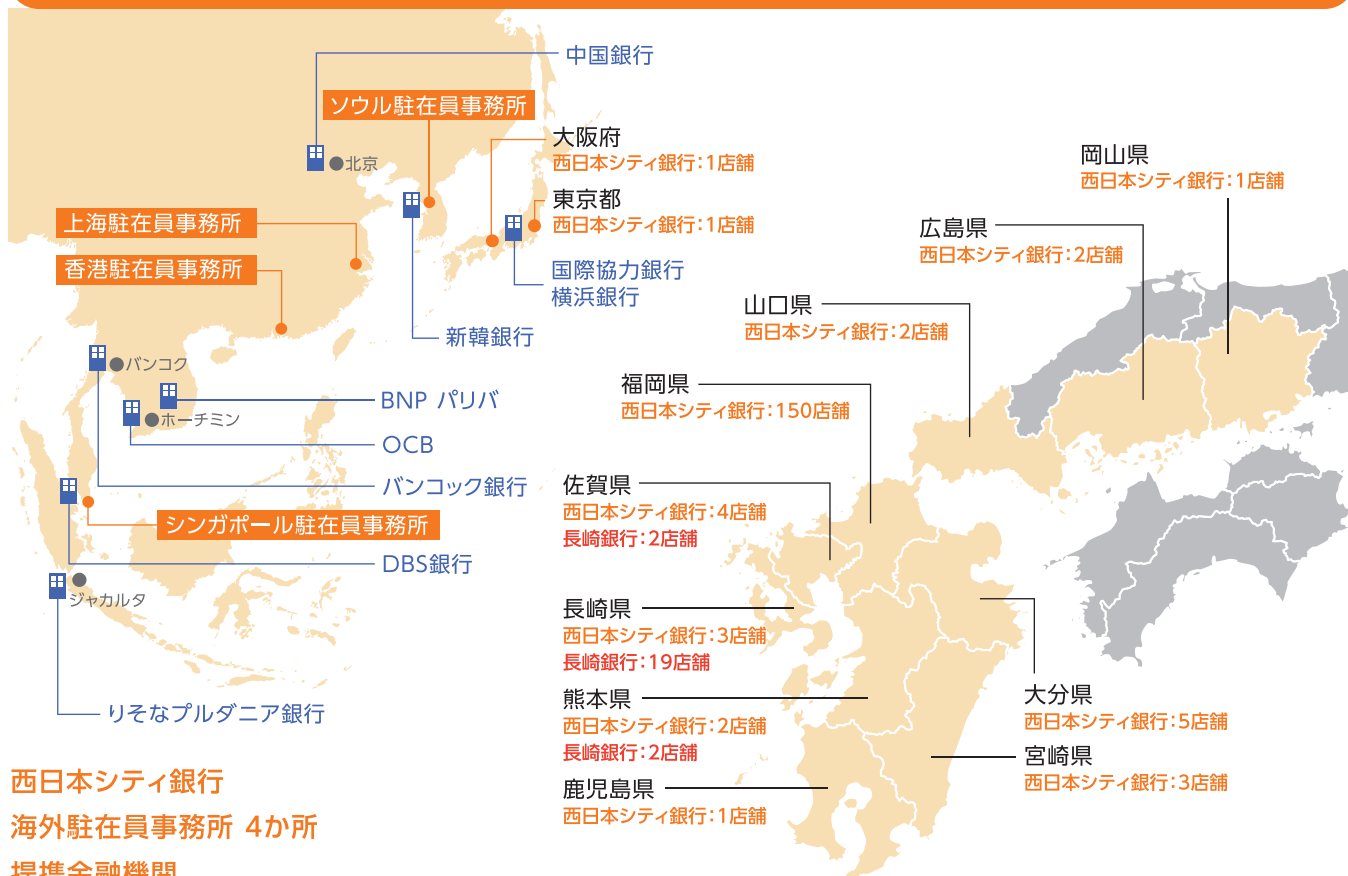
本店所在地	福岡市博多区博多駅前四丁目3番18号 サンライフセンタービル		
代表者	取締役社長(代表取締役) 大原 雅彦		
事業内容	決済代行業		
総資産	1.7億円		
資本金	1億円		

●株式会社 NTTデータNCB

本店所在地	福岡市博多区博多駅前一丁目17番21号 NTTDATA博多駅前ビル7階		
代表者	取締役社長(代表取締役) 狩野 芳徳		
事業内容	情報システムサービス業		
総資産	34億円		
資本金	0.5億円		

※本店所在地・事業内容は2019年3月末時点です。
 ※代表者は2019年6月末時点です。
 ※各種計数は2019年3月末時点の単体計数です。
 (但し、九州カードのカード取扱高は2018年度の計数)
 ※NTTデータNCBは、持分法適用関連会社です。
 ※Jペイメントサービスは、持分法非適用の非連結子会社です。

ネットワーク



西日本シティ銀行

海外駐在員事務所 4か所

提携金融機関

りそなプルダニア銀行(インドネシア) 1996年提携
中国銀行(中国) 2001年提携
国際協力銀行(日本) 2001年提携
新韓銀行(韓国) 2007年提携
OCB(ベトナム) 2008年提携
BNPパリバ(ベトナム) 2008年提携
バンコック銀行(タイ) 2009年提携
横浜銀行(日本) 2016年提携
DBS銀行(シンガポール) 2017年提携

西日本シティ銀行 175店舗
ATM 1,260台

店舗内/748台 店舗外/512台
※コンビニATM除く

西日本シティTT証券 19拠点

福岡県/9店舗・7サテライトブース
宮崎県/1店舗 熊本県/1店舗 鹿児島県/1店舗

長崎銀行 23店舗
ATM 44台

店舗内/30台 店舗外/14台
※コンビニATM除く

(2019年3月末現在)

株式のご案内

1. 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年とします。
2. 定時株主総会 6月に開催します。
3. 配当金の
お支払いについて 【期末配当金】3月31日の最終の株主名簿に記録された株主に対してお支払いします。
【中間配当金】取締役会の決議によって中間配当を行う場合は、9月30日の最終の株主名簿に記録された株主に対してお支払いします。
配当金のお受取りには、預金口座への振込をご利用いただけますと、速くて便利です。当社グループ会社の西日本シティ銀行・長崎銀行を是非ご利用ください。
4. 基準日 定時株主総会については3月31日とします。その他必要があるときは、あらかじめ公告します。
5. 公告方法 電子公告による公告とし、当社ホームページ(<http://www.nnfh.co.jp>)に掲載します。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、西日本新聞と日本経済新聞に掲載します。
6. 株主名簿管理人
及び特別口座の
口座管理機関 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社
(1) 事務取扱場所 福岡市中央区天神二丁目14番2号 日本証券代行株式会社 福岡支店
TEL 092-741-0284
(2) お問い合わせ先 〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
日本証券代行株式会社 代理人部/0120-707-843(フリーダイヤル)
7. ご注意 株主様の住所変更、買増・買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっています。
口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

※本誌に関する計数につきましては、原則として単位未満を切り捨てて表示しています。

2019年7月発行

株式会社西日本フィナンシャルホールディングス 経営企画部 総務広報グループ

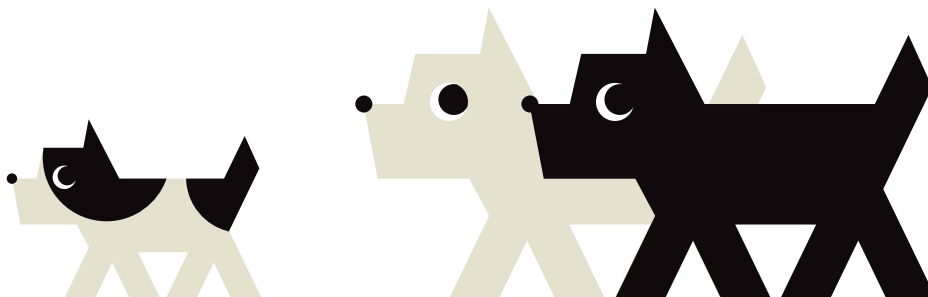
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前三丁目1番1号

TEL 092-476-5050(代表) ホームページ <http://www.nnfh.co.jp>



西日本フィナンシャルホールディングス

<http://www.nnfh.co.jp/>



©GROOVISIONS

西日本シティ銀行ソーシャルメディア公式アカウント



@ncbankofficial



@ncbank_official